

(2012年度山西大学奨学生レポート6月)

冲关大峡谷

吉田 想陶

ろくに中国語を話すことが出来ない状態で始まった留学生活ですが、とうとう最後の月である6月を迎えました。今月は行事やイベントが多く、非常に充実した日々を送ることが出来ました。今回のレポートでは同奨学生の神谷君と参加させて頂いた太原テレビ局の番組について報告したいと思います。

6月20～21日の二日間、友人の紹介を受け太原テレビ局の「冲关大峡谷」(chong guan da xia gu)という番組に出演することになりました。この番組は出演者が湖の上にある様々なアトラクションに挑戦し、時間内にゴールを目指すといったもので、ゴールした後の残り時間で順位を競うバラエティー番組です。



アトラクションの写真

当日はお昼の1時に太原テレビ局に集合し、バスに乗り込んでから長治市の太行山大峡谷という場所へ向かいました。長治市太行山大峡谷は山西省長治市の東南部、河南省の西北部にある林州市の境界内に位置し、太原からはバスに乗り約5時間程度で着く事が出来ます。太行山大峡谷は自然風光旅行地(中国国家森林公園)に指定されており、美しい景色や澄んだ空気を楽しむことのできる素晴らしい場所です。

今回の参加者は私と神谷君を除きすべて中国の方で、私達が日本人だと分かるみんな積極的に話しかけてきてくれました。中でも一番盛り上がった話は

日本の漫画についてです。中国でも日本のアニメや漫画の人気は高く、多くの人が「名探偵コナン」「SLAM DUNK」など日本でも人気の高い漫画の話をしてくれます。しかし中国と日本では漫画のタイトルが違うため、何の漫画の話をしているのかわからない時が多々あります。そんな時はお互いにその漫画の名シーンや名言の物まねを身振り手振りで伝え合うのですが、それが面白く初対面の人とでも盛り上がることができました。

2日目の午前中にアトラクションに挑戦したのですが、私も神谷君も最後の最後で湖に落ちてしまい成功することができませんでした。ずっとスポーツに携わってきた私としては不甲斐ない結果に終わってしまいましたが、素晴らしい思い出です。また、この2日間をきっかけに新たに多くの人と知り合う事ができ、良い友人関係を築く事ができました。人と人の繋がりを大切にし、太原に再訪した際には彼らの元を訪れたいと思います。



アトラクションに挑戦している参加者の写真

(私と神谷君はこのアトラクションで落ちてしまいました)